

12月議会の報告!

街づくり・生活環境・農業施策

よしき新聞

電子自治体への取り組みについて

問「自治体では、行・財政効率化を図りながらサービスの向上が求められて

いる今、防災・防犯情報提供、施設予約、様々な

申請業務、図書検索・貸し出し、会議録検索、電子入札、電子決算、電子

会議室等、ITを駆使し

子入札、電子決算、電子

会議室等、ITを駆使し

たサービス向上の整備が

推進されている。今後、

自治体内部及び住民サ

ビスに関するIT化・電

子化を更に進める上で大

切な事は、行政の効率化・

簡素化と住民サービスの

顧客満足度が重要と考え

る。申請・届け出等、住

主基本カードの活用と

減量目標に「ゴミを出さない、資源を大切にす

る社会の実現に向けた粘り強い取り組みが重要と

述べている。また、リサ

イクル・再資源化につい

て、学校、町内会、自治

会などと連携し、更に進めることがあるとしている。今議会に資源回収協定を締結する陳情があり、立派な取り組みが期待されている。

佐倉市議会議員 岡村よしきは市民の皆様の声に真剣に耳を傾け、いきいきとした住み良いまちづくりに全力でがんばっています。

さまざまなご意見・ご要望を、身近な

ところからお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

暮らしのご相談もお気軽にどうぞ！

ゴミの減量化

問「本年3月発行の佐倉市一般廃棄物処理基本計

画の冒頭で市長は、市民が日頃の生活様式を見直し、1日一人100gのゴミ

減量目標に「ゴミを出さない、資源を大切にす

る社会の実現に向けた粘り強い取り組みが重要と

述べている。また、リサ

イクル・再資源化につい

て、学校、町内会、自治

会などと連携し、更に進めることがあるとしている。今議会に資源回収協定を締結する陳情があり、立派な取り組みが期待されている。

農地解消等の対策が各市町村に求められています。

具体的なプランを策定し、適正な利用に向けて県、農業委員会とスクラムを組んで過休農地の発生防止・解消に具体的に取り組む事が期待されている。

佐倉市における農業の担い手に対する育成・確保、耕作放棄地・過休農地対策の現状と今後の対応について伺う。」

問「農業経営基盤強化促進法等の一部が改正され9月1日に施行された。

周辺よしき議会より



佐倉市議会議員 岡村よしき

は増えるものと考える。今後も行政の効率化・市民サービス向上の為研究し、県や他市とも連携した上、更に電子自治体への取り組みを推進する。」

さまざまご意見・ご要望を、身近なところからお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

暮らしのご相談もお気軽にどうぞ！

岡村 よしき 連絡先

043(488)0229 FAX兼用

E-mail okamura@catv296.ne.jp

URL http://www.e-giin.net/okamura/

問「これから街づくりは、障害の有無、年齢、性別等にかかわらず、多様な人々が「どこでも、だれでも、自由

に、使いやすく」ニーズの考え方を踏まえて都市や生活環境をデザインしていく事が重要である。諸機能がコンパクトに集約さ

れる。自転車圏内において、生活支援佐倉プランや地域福祉の基本的ニーズに応えられる、計画の中でも研究を進め、推進を図つて行きたい。」

障害者計画の事業、あるいは

減量化、リサイクル・再資源化推進策につ

くらで周知

改正された農地制度の活用について

これにより農業の担い手に対する育成・確保、農地の利用集積・耕作放棄

問「これからの街づくりは、障害の有無、年齢、性別等にかかわらず、多様な人々が「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」ニーズの考え方を踏まえて都市や生活環境をデザインしていく事が重要である。諸機能がコンパクトに集約さ

れる。自転車圏内において、生活支援佐倉プランや地域福祉の基本的ニーズに応えられる、計画の中でも研究を進め、推進を図つて行きたい。」

障害者計画の事業、あるいは

減量化、リサイクル・再資源化推進策につ

くらで周知

改正された農地制度の活用について

これにより農業の担い手に対する育成・確保、農地の利用集積・耕作放棄